

理念



代表取締役社長
向井 伸太

自分らしさの家をつくる

大美建築は、創業から60年あまり、日本の代表建築である数寄屋づくりをベースに幅広いフィールドで数多くの建築を手がけてきました。

数ある建築会社のなかで大美建築が目指してきたこと、それは自分(お客さま)らしさの家をつくること。お客さまひとりひとりとひざを突き合わせてのコミュニケーションに時間をかけ、その人に合った家をつくることを基本理念にしてきました。私たちの都合でつくるのではなく、あくまで住む人や使う人が主役の建物。これは当たり前のように思えますが、この具現化には時間がかかります。見た目だけのデザインではなく、内から輝きはじめる家を生み出すためには、深い熟成のときが求められるからです。

数寄屋づくりで培った簡素化精神が私たちの建物づくりに生かされています。しほりこんだデザインと確かな施工技術によって、「大美建築の建物はどことなく違う」という評価をいただいています。どことなく違う建物、これは量産できません。とことんお客さまに満足してもらう建物をつくりたいとの思いから、企画・設計・施工にじっくり時間をかけます。

もちろん無意味に時間をかけることはいたしません。スピードや効率化が求められる現代においては、短期間でローコストの建物をつくることも重要な建築要素です。

これまで培ってきた建築のノウハウ(技術的な蓄積)とネットワーク(連携網)を生かして、「時代が求める機能・素材・デザインとは一体何なのか」をしっかりと見定め、その時代に生きる人たちに快適さや住む喜びを提供したい、と考えています。

大美建築は、その時代に輝くだけでなく、歳月がたつほどに艶を増してくるような建築を目指していきます。